



31 数とグラフ

おさらいの回 (6) **ボクハ アルク キミノタメニ**
 [ドラマ編] ~ 1次関数 ~

【今回学ぶこと】

事件をグラフで解決します。いわゆる、可視化です。少し難しい話ですが、連立1次方程式を解くときは、(1) 代入法、(2) 加減法の2種類でした。いずれも1つの文字を消去して解きます。この煩わしい、1つの文字を消去する作業をしなくても、この連立方程式が解けることがあるのです。それが、1次関数のグラフです。1次関数のグラフを正確に書くと……、あら不思議。事件は一気に解決されます。

数学監修・執筆

湯浅弘一

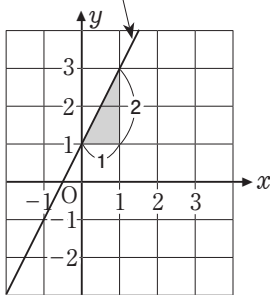


 **事件解決 (グラフ) のポイント**

- 座標軸は横が x 軸、縦が y 軸。
- 座標は (x, y) で表す。
- 直線は $y = ax + b$ と表し、 a が傾きを表し、 b が y 切片を表す。
- 傾きのイメージは、直角三角形の $\frac{\text{高さ}}{\text{底辺}}$ 。
 つまり (高さ) \div (底辺の長さ) です。

例題

下のグラフの直線を式で表しなさい。



答え

アミがけ部分の直角三角形で考えると、

$$\text{傾きは、} \frac{\text{高さ}}{\text{底辺}} = \frac{2}{1} = 2$$

y 軸との交点を y 切片と言い、1 です。

したがって、この直線の式は、

$$\underline{y = 2x + 1} \quad \text{となります。}$$